

「SONY VAIO type P の不具合対応に関するお知らせ」

状況: ユーザー様より、「SONY 製ノートパソコン VAIO type P との組み合わせで、 α -SGR(Rukbat)が立ち上がらない不具合」についてご指摘をいただきました。
以下に原因及び対応方法をお知らせいたします。

原因: VAIO Type P には、「VAIO Location Search」という type P にだけ搭載されている VAIO オリジナルソフトウェアがデフォルトで動いています。このソフトウェアは、GPS とインターフェイスするため、VAIO Virtual COM Port : COM3 がデフォルトでサービスを常駐するように設定されています。

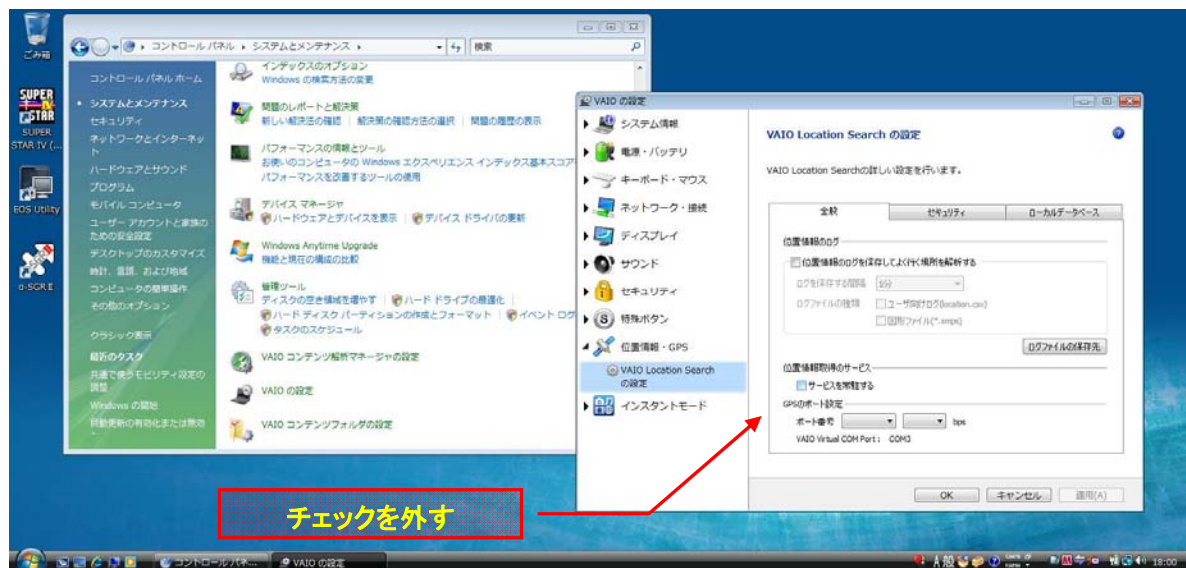
α -SGR(Rukbat)は、COM ポートインターフェイスで接続します。Rukbatは起動時に COM ポート・スキャンを行い、制御装置(リレーBOX)を自動的に接続します。この時、VAIO Virtual COM Port : COM3 が影響し、 α -SGR(Rukbat)が立ち上がらない現象が発生します。

対応: VAIO Virtual COM Port : COM3 のサービス常駐を OFF にすることによって、正常に立ち上がります。

この設定により「VAIO Location Search」の GPS インターフェイスが使用出来なくなりますので、 α -SGR(Rukbat)との同時運用は避けてください。

設定方法:

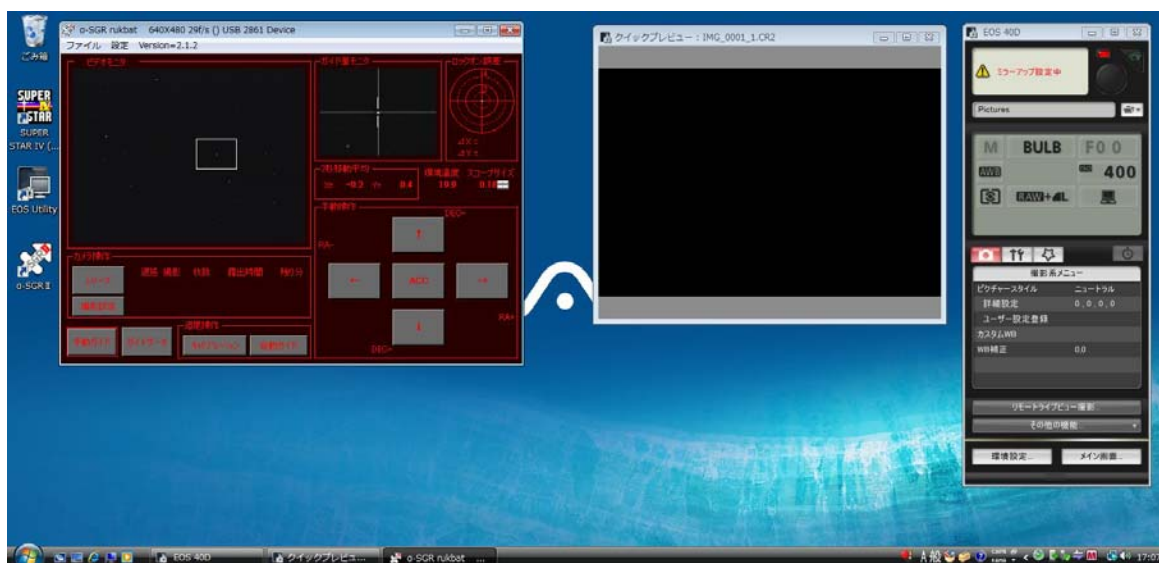
- コントロールパネル → システムとメンテナンス → VAIO の設定
- VAIO Location Search の設定 → 位置情報取得のサービス → サービスを常駐する
- チェックを外す
- システム再起動 → α -SGR(Rukbat)の起動



参考:VAIO TypePの補足資料

VAIO type P による α -SGR(Rukbat)の運用について

- 1, α -SGR(Rukbat)単独でご使用になる場合は、問題なく使用可能です。
- 2, α -SGR(Rukbat)と撮影用ユーティリティとの組み合わせる場合は、CPU負荷等の運用試験が必要です。実験的に行ってみました、CPU負荷はほぼ100%になります。お奨め出来ません。



- 3, α -SGR(Rukbat)と他のソフトウェアとの組み合わせにおいても、CPU負荷に余裕が有ることを確認してください。(ナビケーション・ソフトウェアとの組み合わせは等)

以上